



【学校教育目標】

自ら考え、判断し、よりよく生きようとする力の育成

風薫る5月。爽やかな気候の下、学校の諸活動も軌道に乗ってきました。各学年ともにそれぞれの持ち味を出し、授業や生徒会活動、部活動にと熱心に取り組んでいる姿を見ることができます。特に、部活動では1年生の入部も決まり、どの部も活気に満ちています。来るブロック大会まであと半月ほどです。限られた時間ではありますが、目標を共有して精一杯取り組んでほしいと思います。

「自ら道を切り拓く「有能な学び手」をめざして

私が教員になりたての頃、ある先生が生徒に「勉強する」ということを話されました。

「勉」は「勉(つと)めて」という意味、「強」は「強(し)いる」という意味。つまり、苦しいことや苦手なことから逃げず、自分を追い込んで鍛えるのが「勉強」です。将来社会に出れば楽なことばかりではありません。今「勉強」ということは、大人になって困らないよう、粘り強く我慢強く物事に取り組む力を身につけていくことです。

若かった私は、「なるほどなあ」と感心しながら話を聞いたのを覚えています。

時代は流れ、最近では「勉強」だけでなく、「学習」や「学び」という言葉がより頻繁に使われるようになりました。これら3つの言葉にはどのような違いがあるのか。ふと思い立ち、AIに尋ねてみたところ、興味深い回答が返ってきました。

AIによると、その違いは「義務・プロセス・自発性」というキーワードで整理できるそうです。

勉強: テストや宿題など、外から与えられた目標に対し、努力して励むこと。少し「義務感」が強いニュアンスを含みます。…確かに先輩の先生がおっしゃったことに通じます。

学習: 知識や技術を体系的に身につけるプロセスです。読み書きやスキル習得など、インプットと反復による「定着」に重きが置かれます。…ドリル学習や自主学習はそうですね。手順化やシステム化して行う形です。

学び: 最も主体的で、好奇心が原動力となるものです。経験を通じて自分の価値観が変化し、内面的な成長を遂げるプロセスを指します。…わくわくしながら取り組む感じがします。

現代は「VUCA(変動性・不確実性・複雑性・曖昧性)」と呼ばれる、先行きが不透明な時代です。かつてのように「一度覚えた知識」が一生通用する時代は終わり、知識の賞味期限は極めて短くなっています。今、社会から求められているのは「何を知っているか」ではなく、「未知の状況で知っていることをどう生かすか」そして「どう学ぶか」という能力です。だからこそ私たちは、生徒たちが自ら問いを立て、変化し続けられる「有能な学び手」へと成長できるようサポートしていかなければなりません。

AIは最後に、私にこう問いかけてきました。

「あなたは今、義務としての『勉強』をされていますか？それとも、純粋な好奇心からの『学び』の最中でしょうか。」

私は、学校という場が、単なる「勉強」の場に留まらず、一生続く「学び」の楽しさを知る場所であってほしいと願っています。



生徒会目標「笑門来福 すてきな仲間 とりくむ姿勢 リスペクト」 生徒会活動スタート



4/30(木)、全校が一堂に会し、1学期生徒総会を行いました。本会に先立ち、各学級で今年度の活動計画等について事前の協議を行いました。当日は、学級から出された質問や意見に対し、各専門委員会の委員長・副委員長が答弁する形式で今年度の活動内容について全校で理解を深め、承認を行いました。

中学校における生徒会活動は、生徒一人ひとりが「生徒会の一員」としての自覚を深め、よりよい学校生活を自ら創り出す「自治活動」の基礎を学ぶ場です。自分たちの学校を、自分たちの手で過ごしやすい場所に

できるよう、自ら課題を見つけ、改善の手立てを考え、実行に移す。こうした経験を通し、将来的に地域社会へ視野を広げていくことを期待しています。

今年度の生徒会目標「笑門来福」には、「全校のみんなが自然と笑顔になり、心から楽しいと思える学校にしたい」との願いが込められています。また、副題の頭文字(す・と・り)には、これまでの伝統を大切にしつつ、自分たちの個性を発揮してストーリー(物語)を紡いでいきたいとの意味が込められているそうです。そのために特に重視したいことを生徒会長・副会長に尋ねると、「リスペクト」だと答えてくれました。今後、互いのよいところを認め合う活動を行い、相手を尊重し合う関係づくりを進めることで、笑顔あふれる学校にしたいと強く語ってくれました。

近々この生徒会目標をポスターにして昇降口に掲示する予定ですので、お近くにお越しの際はぜひご覧ください。

全国学力・学習状況調査に挑戦!

4/20、23、30には、3年生を対象に全国学力・学習状況調査を行いました。今年度は英語がタブレット端末を使った調査問題で3日に分けて実施となりました。

この調査は、各教育委員会や学校が速やかに生徒の学力や学習状況、課題等を把握し、それらを踏まえて調査対象学年や他の学年の生徒への学習指導の改善・充実等に取り組むために行われるものです。

右の写真は、英語の「話すこと」の調査に取り組んでいる様子です。ヘッドフォンを用いて英語で話して解答するため、1クラスを2会場に分散して調査を行いました。みんな真剣に英語を話していました。



朝のスタートの充実を目指して ～朝読書・新聞活用・AIドリル～

毎朝の10分間を利用し、読書や新聞記事を読む活動を行っています。これは、読解力を育むとともに落ち着いた雰囲気の中で気分をリフレッシュする効果もねらいとしています。新聞記事は、毎回文化委員が選んだ記事を配付し、読んだ感想を書く活動を通して、社会の出来事にも関心をもつことを期待しています。

また、今年度からタブレット端末の活用を一層推進するため、AIドリルもこの時間に全校で取り組むことを始めました。誰もが、タブレット端末を文房具の一つとして自在に扱えるようにスキルを高めていきたいと思いますが、なかなか学校では時間確保をすることが難しく、使い方の指導が十分でない面がありました。

使い方が分かれば、それぞれのペースで使用できるものと思いますので、まずはAIドリル使ってみるところから挑戦中です。今後、家庭に持ち帰って家庭学習に生かせるようにしたいと思っています。

何気ない姿に心を癒されています

- ・ 校長室のすぐ近くで体育の授業を行っています。暑い中でも力走する姿、それを互いに「がんばれー!」と声を掛け合う姿に気持ちが温かくなります。
- ・ 先日見に行った部活動の大会での一コマ。白熱した試合で両応援席もワンプレーワンプレーに歓声をあげていたところ、相手応援席にボールが飛び込んでしまいました。そのボールを返してもらった際、「ありがとうございます。」と正対して感謝を伝える姿に日頃の習慣(ふるまい)を感じました。
- ・ 昇降口の下駄箱はいつも靴が整っている学級があります。きっと靴をただ置くのではなく、振り返って確認し、もうひと手間をかけているのではないかと思います。何気ない行為もみんなが同じように思いを揃えて行動するととても美しく感じます。

